



気がかりな企業姿勢の乱れ

株式会社総合研究所 主席研究員 坂東輝夫

■ 最近の企業倫理の乱れようはどうしたものでしょう。企業倫理という堅苦しい用語が適切でないなら、企業が社会に対する姿勢と言ってもいい。とにかく、その企業の姿勢がこのところ相当に乱れているのである。

最近新聞を賑わしている例で言えば、西武鉄道であり、三菱自動車工業だろう。金融機関ではUFJ銀行か。これら各社の姿勢がどう乱れているかは日々細かく報道されてから、いまさら書くまでもないと思う。

粒子状物質減少装置とやらで三井物産に傷がついたのもご承知の通りだ。有価証券報告書の記載訂正に至っては、旭化成など10社に達するという。これら不正行為を働いた企業は、経営者の逮捕や上場廃止、公共入札の指名停止など、大きな代償の支払いを余儀なくされている。企業姿勢の乱れは決して一部企業の特殊な例外とは言えないのである。

も っとも、それぞれの企業にとって姿勢の乱れをもたらした原因は様々である。とはいえ、一方でもっともらしくCSR（企業の社会的責任）が議論され、CSI（社会責任投資）が推奨され

ているのに、他方で社会に対して様々な不正を働く企業が増えているのは、どう見ても尋常ではない。三井、三菱という日本を代表する超ブランドであっても事情は変わらない点に問題の根の深さがある。

上の事例に挙げた企業はいずれも上場企業だが、その上場企業は2005年3月期で2期連続で最高益を更新するらしい。日経調査では、上場企業の4分の1が今期で増配するそうで、企業配当も過去最高になるという。長期不況をくぐり抜けた後のこの好業績は立派なもので、日本大企業の底力の強さを見る思いがするが、それだけに企業姿勢の乱れが気にかかる。

で は、こうした企業姿勢の乱れは大企業に限ったことかと言えば、残念ながらそうではない。中小企業でも結構、乱れた姿勢の企業がいる。最近の話題では、2003年6月に東証マザーズに上場したばかりのソフト開発企業、アソシエント・テクノロジーを挙げればいだろう。上場企業とはいえ、1994年創業の若いベンチャー企業だ。

そのアソシエントが上場後初の決算に

なる2004年7月期の決算で利益を水増し計上していたのが明らかになった。しかも、決算の粉飾は前期にとどまらず、過去にも行われていた疑いがあるという。同社は上場時に公募増資を実施、今年9月にも転換社債型新株予約権付社債を私募で発行しているから、虚偽の情報で資金調達していたことになる。その姿勢は許せるものではない。

新興3市場への上場企業に限ると、今年だけでアソシエント以外にも不正を働いた企業は少なくない。メディア・リンクスは社長が昨年10月に暴力行為違反容疑で逮捕されたのに続いて、今年11月に決算虚偽記載の疑いで再逮捕された。ワイ・アリーバ（現ゼクー）でも社長が傷害容疑で書類送検された（1月）。中古マンション販売のアルデプロでも今年3月の上場直後に社長の実刑判決が判明し、宅地建物取引業者の免許を取り消された（4月）。

これでは中小企業の姿勢も大企業と似たりよったりではないか。あまり大企業を批判できない。もっとも、不正を働く中小企業は一部だけだと言うかも知れない。しかしそれを言うなら、大企業も全部が全部不正を働くわけではない。健全な企業の方が多いのは当たり前だ。ただ、大企業も中小企業も、その一部が問題なのである。

あるいは、新規上場ブームに乗ってあわてて新興3市場に上場するようなベンチャー企業と、地道に経営している一般

中小企業を一緒くたにしてもらっては困る、という言い訳もあるだろう。確かに、浮ついた上場企業が多いのは否定しない。とはいえ、いくつもの審査をクリアして初めて上場できることを考えると、ベンチャー企業と一般中小企業とをそう簡単には区別できまい。

やはり、大企業に（一部とはいえ）姿勢の乱れが生じているのと同様に、中小企業（やはり一部とはいえ）にも倫理のほころびが見えるようになったということだろう。長引く不況がなりふり構わず企業を儲け主義に走らせたのかも知れない。市場原理の徹底という社会の流れが「勝つためには何をしてもいい」という弱肉強食の姿勢を強めた面もあるだろう。

とはいえ、不正は不正であり、乱れた企業姿勢は社会に害をもたらす。それどころか、社会はいまやCSRを厳しく問うようになっている。規制が緩和される一方で、会社法規は企業行動を厳しく律する方向に向かっている。早い話が、グリーン調達の広がりや環境に配慮しない企業は取り引きを打ち切られる恐れさえ出ている。

社会は企業の行動を厳しく見守るようになっているのが現状なのである。そういう時期に、企業姿勢の乱れは命取りになるのではないかと。不正の結果、企業が消滅した雪印乳業の例もある。「企業は公器」という原点を再確認したいものだ。